

公益財団法人 北九州国際交流協会

公益財団法人 北九州国際交流協会

I 法人の概要（令和7年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ3階

2 設立年月日

平成2年7月25日

3 代表者

理事長 福原 公子

4 基本財産

300,000 千円

5 北九州市の出捐金

300,000 千円（出捐の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	1 人	6 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	12 人	2 人	0 人	10 人

7 団体のミッション

- ① 市の国際政策・方針を具体的な取組へ展開し、政策の実効性を確保し、実現する。
- ② 外国人市民の定住に向けた社会生活適応と自立を支援する。
- ③ 共生社会の実現に向け、団体が有するノウハウを生かして地域や学校、企業等をコーディネートする。
- ④ 多様な声を拾い上げ、外国人市民の抱える課題を整理・可視化し、市の政策形成に反映させる提案を行う。

II 令和6年度事業実績

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3（2021）年度を初年度とする5か年の中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施した。

令和6年度は、外国人市民が急増する状況下で、外国人市民への多言語による生活全般の情報提供・相談、外国人市民への防災対策、外国人への日本語教育の充実及び日本人等への「やさしい日本語」の普及等に務めた。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民への相談対応

ア 多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの相談

○八幡西区コムシティ及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語はタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大 24 言語の相談に対応した。

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」が関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローを行った。

○「生活者」、「子ども」、「就労者」を対象とした日本語教育に関する相談は、日本語コーディネーターが外国語相談員と連携して対応した。

対応日時：月曜～金曜日 9:30～16:00

相談者数：1,015 人 相談件数：1,254 件

○相談通訳コーディネーターが通訳者の育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援を行った。

※コミュニティ通訳業務（市の委託事業）

対応件数：229 件（内派遣件数 72 件）

言語別：英語 92 件、中国語 79 件、ベトナム語 28 件、ネパール語 15 件、
インドネシア語 6 件、タガログ語 5 件、その他 4 件

内容別：区役所（行政手続）関係 116 件、子育て支援（子ども関係）87 件、子育て支援（母親関係）13 件、医療機関業務 4 件、保健所業務 1 件、その他 8 件

※医療通訳派遣（協会の法人賛助会員は無料）

派遣件数：19 件

言語別：英語 2 件、中国語 7 件、ベトナム語 10 件

診療科別：内科 15 件、外科 1 件、脳神経外科 1 件、整形外科 2 件、眼科 2 件、
耳鼻咽喉科 2 件（複数科受診を含む）

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施した。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」 1 回/月 相談件数：50 件

○弁護士による「法律相談」 1 回/月 相談件数：16 件

○臨床心理士による「心理カウンセリング」 2 回/年 相談件数：4 件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

開催日：9 月 30 日（子どもの館 子どもホール） 参加者数：36 人

2 月 10 日（八幡西生涯学習総合センター大会議室） 参加者数：32 人

出席機関：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、福岡出入国在留管理局、北九州市（国際政策課、地域福祉推進課、区保健福祉課等）

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報

日本語、英語、中国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したりリニューアル後のホームページから、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

※ホームページアクセス件数

日本語 96,045 件、英語 8,021 件、中国語 1,884 件、韓国語 1,665 件

ベトナム語 2,360 件、やさしい日本語 1,377 件 合計 111,352 件

Facebook フォロワー数：1,602 人 Instagram フォロワー数：798 人

イ 外国人市民への防災対策（市の委託事業）

（ア）外国人市民等への防災研修

○外国人市民のための防災体験スタディツアー

開催日：9 月 29 日

場所：福岡市民防災センター、大宰府天満宮

参加者数：33 人（インドネシア、ベトナム、中国、フィリピン、インド、アメリカ、韓国、日本）

内容：防災体験と日本文化スタディツアー（英語通訳付きで実施）

（イ）北九州市災害多言語支援センター運営に係る研修

○外国人支援者向け防災研修

開催日：2 月 21 日 10:30～12:00

場所：八幡西生涯学習総合センター

参加者数：42 人（北九州市関係部署職員、北九州市内警察署員、JICA 九州、社会福祉協議会、防災時通訳サポーター、協会職員等）

講師：熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷 知美 氏

内容：災害時の外国人支援、災害多言語支援センターについての講義

○「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」運用研修

熊本地震の多言語支援センターでの災害多言語支援ツールの情報共有や活用方法等についてお話を伺った後、熊本で実際にあったケースを考えるグループワークを行った。

日時：2 月 21 日 13:30～15:30

場所：北九州国際交流協会内

講師：熊本市国際交流振興事業団 事務局長 勝谷 知美 氏

参加者：北九州国際交流協会職員、北九州市職員 計 13 人

(3) 日本語教育の推進と ICT 活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人を対象とした協会主催の日本語教室は、ICT を活用し、外国人児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は対面形式で教室を開催した。

(ア)外国人生活者支援

○「ひらがなカタカナ」(オンライン)

開催期間：5 月 15 日～2 月 5 日 1 期 10 回、年間 3 期実施
(毎週水曜日 13:00～14:30)

開催回数：30 回 登録学習者数：7 人(実数)

学習者の国籍：フィリピン、インド、モンゴル、中国、アメリカ、メキシコ

○「にほんご 1」(オンライン)

開催期間：5 月 15 日～2 月 21 日 1 期 20 回、年間 3 期実施
(毎週水・金曜日 10:00～11:30)

開催回数：60 回 登録学習者数：20 人(実数)

学習者の国籍：フィリピン、中国、ベトナム、タイ、ネパール、モンゴル、インドネシア、ミャンマー、アメリカ、メキシコ、スイス、スペイン

○「にほんご 2」(オンライン)

開催期間：5 月 14 日～2 月 27 日 1 期 20 回、年間 3 期実施
(毎週火・木曜日 10:00～11:30)

開催回数：60 回 登録学習者数：23 人(実数)

学習者の国籍：韓国、フィリピン、ケニア、インドネシア、ベトナム、バングラディシュ、タイ、ネパール、スウェーデン、中国、モンゴル、ミャンマー

○「にほんご 3」(オンライン)

開催期間：8 月 26 日～2 月 17 日 1 期 10 回、年間 2 期実施
(毎週月曜日 10:00～11:30)

開催回数：20 回 登録学習者数：12 人(実数)

学習者の国籍：韓国、ベトナム、イギリス、中国、スウェーデン

(イ)外国人子ども支援(児童生徒を対象にした日本語教室)

○「なつやすみにほんごひろば」(対面)

開催日時：7 月 21 日(日)、7 月 25 日(木) 10:30～12:00

開催場所：北九州国際交流協会、小倉中央市民センター

学習者数：16 人(実数) ボランティア数：16 人(実数)

学習者の国籍：中国、ベトナム、ネパール、インドネシア、モロッコ

○「にほんごひろば準備クラス」(対面)

開催日時：2 月 14 日(月)、2 月 17 日(木)、3 月 3 日(月)、3 月 10 日(月)
16:00～17:00

開催場所：小倉中央小学校

学習者数：14 人(実数)

学習者の国籍：中国、ベトナム

(ウ)直営日本語教室パートナーのための研修（オンライン）

開催期間：4月23日～2月5日 計10回

参加者数：14人（実数）

(エ)日本語交流マッチングパートナー制度の試行（オンライン）

開催時期：1月

実施回数：1組（日本語学習支援者と日本語学習者のペア）×80分×3回

参加者：日本語学習支援者1人、日本語学習者1人（国籍：フィリピン）

(オ)日本語登録講師研修

テーマ：行動中心アプローチに基づく日本語教育／学習支援

開催日：9月9日（月）13:30～15:30

場所：オンライン（ZOOM）

参加者：日本語登録講師6人、総括日本語コーディネーター、日本語コーディネーター

講師：学習院大学教授 金田 智子 氏

内容： ・行動中心アプローチに基づく日本語教育および課題遂行型の活動とは
・言語能力記述文（can-do）の種類と活動での活かし方
・評価の種類・方法と活動への取り入れ方

イ 地域日本語教室との連携

(ア)地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している16の教室・団体の課題や問題点の把握に努めるとともに必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

○地域の日本語教室16教室に対して運営資金の一部を助成（75万9千円）

○日本語コーディネーターによる教室訪問（随時）

○「にほんごクラスマップ」更新

○ボランティア向け研修会の開催

① テーマ：新しい潮流の中で、日本語学習支援を考える

～学習者がいきいき学べる実践をめざして～

開催日：8月31日（土） 14:00～16:00

場所：オンライン（ZOOM）

参加者数：85人

講師：アクラス日本語教育研究所 代表理事 嶋田和子氏

② テーマ：日本語教育セミナー「多文化共生を目指した市民活動を考える」

開催日：11月30日（土） 14:00～16:00

場所：オンライン（ZOOM）

参加者数：48人

講師：国際教養大学専門職大学院 特命教授 伊東祐郎氏

○地域日本語教室との意見交換会

開催日：5月16日（木） 18:00～19:00

場所：北九州国際交流協会、オンライン（ZOOM）

参加者数：教室の代表者・メンバー 計 8 人

(イ)「留学生弁論大会」及び「日本語おしゃべり発表会」の開催

外国人留学生や技能実習生等に日本語でスピーチする機会を提供することで日本語学習欲の増進と地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進につながった。

○「留学生日本語弁論大会」

開催日：10 月 13 日（日）13:00～16:00 場所：子どもの館 子どもホール

発表者数：11 人（中国 8 人、ベトナム 1 人、マレーシア 1 人、フィリピン 1 人）

来場者数：49 人

○日本語おしゃべり発表会

開催日：2 月 2 日（日）13:30～17:00 場所：ウェルとばた 中ホール

発表者数：21 人（中国 6 人、ミャンマー 4 人、インドネシア 3 人、ベトナム 2 人、
ニュージーランド 2 人、インド 1 人、パキスタン 1 人、タイ 1 人、カナダ 1 人）

来場者数：141 人

ウ 外国人受入企業の支援

市内 5 の企業・団体から相談を受け、そのうち 4 企業へ「日本語教育支援」を実施した。
また、外国人材を雇用する企業向け相談会に出展した。

○「北九州国際交流協会の日本語教育支援」

主に外国人スタッフと日本人従業員のコミュニケーションを重視したプログラム。外国人スタッフ向けの 10 回の日本語教育プランに加え、日本人社員向けのコミュニケーション研修がある（外国人スタッフ向け日本語教育は日本語講師を派遣）。また、個別具体的な助言や支援を希望する外国人受入企業に対してコーディネーターを派遣した。

① 総合工事業

場所：小倉南区

期間：4 月 6 日～6 月 15 日（毎週 1 回×10 日×3 クラス）

対象者：フィリピン人技能実習生 17 人

② ソフトウェア情報処理業

場所：八幡西区

期間：7 月 12 日～8 月 20 日（毎週 2 回×10 日）

対象者：韓国人技術者 1 人

③ 介護福祉業

場所：若松区

期間：2 月 5 日～4 月 9 日（毎週 1 回×10 日）

対象者：インドネシア人特定技能 2 人

④ 食料品製造業（コーディネーター派遣のみ）

場所：小倉南区

派遣日：12 月 10 日、1 月 23 日

○「企業向け外国人材雇用ワンストップ相談会」への出展

その他団体として出展し、参加団体等と情報交換、参加企業の相談対応、外国人材との向き合い方についてセミナーを行った。

出展日：10月11日（金）

場所：西日本総合展示場

団体ブース：8社

エ やさしい日本語普及啓発事業（北九州市国際政策課との協働事業）

「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解促進のために、行政職員に対して「やさしい日本語」の啓発を行った。

開催時期：2月～3月 開催回数：3回

対象者：54人 {区役所職員（八幡西・若松・小倉北）}

オ 北九州市立夜間中学校（ひまわり中学校）への日本語教育支援

令和6年4月に開校したひまわり中学校に在籍する外国人生徒2人の日本語習得等を支援するため、日本語コーディネーター等を派遣した。

期間：令和7年1月～2月 全4回

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1) 人材バンク登録の推進

ア 人材バンク・協会ボランティア登録の推進

人材バンク登録者及びボランティアの新規登録を進めると共に当協会の事業やイベント等で人材の活用を図った。

<人材バンク>登録状況 令和7年3月31日現在

○翻訳サポーター（協会や市からの依頼により翻訳を行う）：3人

○日本語教育サポーター（日本語学習の指導を行う）：4人

○文化紹介サポーター（多文化共生や国際理解推進のための講演や研修を行う）：37人

○外国語相談サポーター（協会窓口で相談対応や翻訳を行う）：7人

○外国人住民応援サポーター（協会からの外国人に役立つ情報の発信を行う）5人

<協会ボランティア（言語内訳は重複あり）>

○行政通訳ボランティア：82人 ※うち災害時通訳サポーターとして64人登録

中国語26人、英語18人、ベトナム語9人、韓国語6人、インドネシア語3人、タガログ語5人、ネパール語6人、タイ語4人、ロシア語2人、モンゴル語3人、ウクライナ語2人、ドイツ語1人、ウルドゥー語1人

○医療通訳ボランティア：37人（うち1名は2言語登録）

中国語20人、英語13人、韓国語4人、ベトナム語1人

○専門家相談通訳ボランティア：10人

○交流ボランティアファミリー：63家庭

○日本語教育ボランティア：30人

○読書ボランティア：24人

イ 外国人人材の発掘・情報収集

外国人人材を発掘して文化紹介サポーターとして人材バンクに登録してもらい、希望する高校に派遣した。

7月9日 明治学園高等学校

7月26日 北九州市立年長者研修大学校

8月17日 ユースステーション

12月6日 熊西中学校

12月14日 ユースステーション

1月10日 福岡県立北九州高等学校

1月25日 星ヶ丘市民センター

3月7日 仰星学園高等学校

3月15日 ユースステーション

(2) 留学生等に対する支援

ア 関原大連市留学生奨学金給付（関原北九州大連友好基金の活用）

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、九州工業大学大学院（1人）、早稲田大学大学院（2人）に通う留学生（計3人）に、月額2万円（年額24万円）を支給した。

イ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した（北九州市立大学等計11回）。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 外国人市民等への防災支援

ア 外国人市民等への防災研修

地域社会へ貢献する意欲のある外国人市民の依頼により、防災研修を実施した。

開催日：8月16日（北九州イスラム文化交流センター）

参加者数：19人（インドネシア17人、日本2人）

講師：危機管理室危機管理課 東俊宏地域防災担当係長

内容：災害の備えについて（英語通訳付きで実施）

イ 読書ボランティアのアウトリーチ活動（出張読書活動推進）

外国人市民の読書ボランティア（読書ボランティア24人中10人が外国人市民）が、主に外国につながる外国人児童・生徒等のために、小倉北区の子ども図書館と八幡西区の八幡図書館折尾分館の2か所で計3回の多言語お話し会を開催した。

(2) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット：加盟 60 団体）の事務局支援

総 会：6 月 1 日（八幡西生涯学習総合センター 大会議室）

役員会：6 回開催

ワークショップ・研修会：2 回開催

① テーマ：「PROFILE CARD」

開催日：6 月 1 日（八幡西生涯学習総合センター 大会議室）

参加者数：32 人

② テーマ：「ブロック de まなぶ国際交流・協力活動編」

開催日：3 月 15 日（北九州国際交流協会 交流スペース）

参加者数：17 人

パネル展：10 月 4 日～16 日（ひとみらいプレイス）

参加団体数：16 団体

キーネット映画祭「医学生ガザへ行く」

開催日：9 月 22 日（八幡西生涯学習総合センター 大会議室）

参加者数：8 人

(イ) 民間団体の活動支援

○事業の共催、後援及び広報支援等 共催：3 件 後援：6 件

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際交流財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、保育施設、小・中・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。

派遣した市内の学校数、派遣数及び講師数：20 校、23 件・50 人

(イ) 協会職員等の講師派遣

小学校、高校、団体等に協会職員や協会ボランティアを講師として派遣し、自国の生活や文化等の紹介について講義を行った。

○協会職員や協会ボランティア（派遣回数 10 回）

7 月 9 日 明治学園高等学校（再掲）

7 月 19 日 荻ヶ丘市民センター

8 月 17 日 ユースステーション（再掲）

11 月 5 日 横代小学校

12 月 6 日 熊西中学校（再掲）

12 月 14 日 ユースステーション（再掲）

1 月 10 日 福岡県立北九州高等学校（再掲）

2 月 6 日 北九州市民カレッジ（北九州市立生涯学習総合センター）

3 月 7 日 仰星学園高等学校（再掲）

3 月 15 日 ユースステーション（再掲）

○協会職員（外国人支援主任（多文化ソーシャルワーカー））（派遣回数 10 回）

- 7 月 5 日 かめのり財団「連続セミナー2024 高齢化・人口減少の加速化に備える持続可能な地域づくりと、国際交流・多文化共生のこれから第4回『求められる支援の在り方』」
- 8 月 1 日 全国市町村国際文化研修所「外国人相談窓口の運営『外国人相談の実際～多文化ソーシャルワークの視点～』」
- 9 月 10 日 西南女学院大学助産別科「グローバル社会と地域母子保健」
- 11 月 15 日 八幡東区エンジョイント事業「日常の？を考えよう『英語～国や文化を超えてのコミュニケーションづくり』」
- 11 月 18 日 西南女学院大学英語学科「異文化間コミュニケーション」
- 12 月 16 日 小倉南区保育士会単発研修「外国籍家庭への支援のあり方」
- 12 月 26 日 福岡出入国在留管理局第 12 回相談窓口連絡会
「外国人相談窓口担当者のための知っておきたい相談通訳」
- 1 月 15 日 福岡県国際交流センター「外国人相談に関する勉強会」
- 2 月 2 日 福岡県行政書士会シンポジウム「多文化共生ってなんだろう？
1 部基調講演『多文化って？』」
- 3 月 7 日 福岡県国際交流センター「外国人相談に関する勉強会」

○協会職員（日本語コーディネーター・総括コーディネーター）（派遣回数 10 回）

- 4 月 9 日 北九州市立ひまわり中学校「ひまわり中学校教職員のためのやさしい日本語【話す編】」研修
- 7 月 22 日 八幡東区コミュニティ支援課「市民センター職員のためのやさしい日本語研修」
- 7 月 29 日 ESD いきいきシニア塾（筒井市民センター）「多文化共生を目指して～異文化体験と日本語コミュニケーション」
- 10 月 23 日 下関地方気象台「義務で使えるやさしい日本語」
- 11 月 26 日 福岡県小倉北警察署「小倉北国際化対策・沿岸警備協力会通常総会」
- 12 月 6 日 福岡よかトピア国際交流財団「日本語ボランティアスキルアップ研修『ANADO～あなたならどうする？地域日本語教室の“あるある”シミュレーションゲーム』」
- 1 月 18 日 佐賀県国際交流協会「日本語学習ボランティア等養成講座講座 1（公開講座）～事例から考える！日本語学習支援×多文化共生～」
- 2 月 20 日 八幡西区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」（再掲）
- 2 月 27 日 若松区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」（再掲）
- 3 月 7 日 小倉北区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」（再掲）

ウ 多文化共生の地域づくり

学習会や交流会、交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の地域づくりを推進した。

(ア) 英語で語る自分の国

回数：6回 参加者数：175人

場所：北九州国際交流協会

5月18日 韓国 30人

7月20日 イギリス 30人

9月7日 ナイジェリア 27人

11月2日 カナダ 29人

1月18日 オーストラリア 26人

3月1日 ホンジュラス 33人

(イ) 多文化共生啓発

外国人市民と日本人が相互理解を深める交流会を開催した。

○レッツ トーク！☆

回数：2回 参加者数：100人

場所：八幡西生涯学習総合センター大会議室

8月10日 56人（内16人外国人）

2月1日 44人（内19人外国人）

○留学生と日本人の交流会

回数：2回 参加者数：69人

場所：北九州国際交流協会

6月15日 留学生4人、交流ボランティアファミリー8家族14人

12月21日 留学生8人、交流ボランティアファミリー2家族5人、一般38人

（国際交流クリスマスパーティーとして実施）

(ウ) 外国人市民の読書活動推進事業

○多言語読み聞かせボランティア研修

開催日：7月6日

場所：北九州国際交流協会

参加者数：28人（内11人外国人）

○多言語おはなし会①

開催日：7月20日

場所：北九州国際交流協会

参加者数：10人（内2人外国人）

○多言語おはなし会②

開催日：8月11日

場所：北九州市立子ども図書館

参加者数：20人（全員日本人）

○多言語おはなし会③

開催日：10月20日

場所：北九州国際交流協会

参加者数：23人（内5人外国人）

○多言語おはなし会④

開催日：10月23日

場所：ウェルとばた

参加者数：11人（全員日本人）

○多言語おはなし会⑤

開催日：11月16日

場所：八幡図書館折尾分館

参加者数：16人（内4人外国人）

○多言語おはなし会⑥

開催日：12月22日

場所：北九州国際交流協会

参加者数：17人（内3人外国人）

○多言語おはなし会⑦

開催日：1月18日

場所：北九州国際交流協会

参加者数：16人（内2人外国人）

（エ）多文化共生意識啓発・地域交流事業（市の委託事業）

○ヒューマンライブラリー入門（講座）

外国人支援者や一般市民を対象に事例紹介を含めた「個人理解を目的としたヒューマンライブラリー入門（講座）」を実施した。

開催日：10月6日

場所：八幡西生涯学習総合センター204会議室

参加者数：13人

講師：東京ヒューマンライブラリー協会代表 亀澤 宏徳 氏

○多文化共生ヒューマンライブラリーin 北九州

①ヒューマンライブラリー（実践）

北九州に住む外国人を含む語り手が語りを行い、互いの文化や考え方を理解し、多文化理解を深めるためのイベントを開催した。

開催日：11月16日

場所：折尾まちづくり記念館

参加者数：13人

②多言語おはなし会（再掲）

外国人市民と日本人市民がともに書籍を通して多文化に触れる機会を提供し、相互理解を進めるため多言語おはなし会を実施した。

開催日：11月16日

場所：八幡図書館折尾分館

参加者数：16 人（内 4 人外国人）

（オ）グローバル人材育成事業（市の委託事業）

○レッツ トーク！☆（再掲）

回数：2 回 参加者数：100 人

場所：八幡西生涯学習総合センター大会議室

8 月 10 日 56 人（内 16 人外国人）

2 月 1 日 44 人（内 19 人外国人）

○わいわいスタディ文化交流会

開催回数：4 回 参加者数：82 人

場所：八幡西生涯学習総合センター 204 会議室

8 月 24 日 18 人

10 月 5 日 12 人

12 月 17 日 25 人

2 月 15 日 27 人

○キーネットパネル展（再掲）

開催期間：10 月 2 日～11 日（ひとみらいプレイス）

参加団体数：16 団体

○2024KIA 国際交流まつり

北九州市に住んでいる外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わ
いづくりにつながるバザーや発表、民族衣装体験、図書バザー等を行った。

開催日：10 月 19 日、20 日

場所：北九州国際交流協会

出品国：5 カ国 5 ブース

来場者数：約 630 人

○国際交流クリスマスパーティー（再掲）

外国人や外国文化を身近なものとしてとらえ、相互理解のきっかけとなるような
交流イベントを開催した。

開催日：12 月 21 日

場所：八幡西生涯学習総合センター

参加者数：51 人（内 15 人外国人）

（カ）多文化共生の担い手育成

○コミュニティ通訳者フォローアップ研修（協会事業を支える人材育成）

開催日：3 月 5 日

場所：八幡西生涯学習総合センター204 会議室

内容：実際の通訳現場を想定した事例検討

- ・北九州市の多文化共生の取組みについての説明
- ・行政通訳の実績と傾向についての説明
- ・通訳の基本、通訳倫理に関する説明

・実際の通訳現場を想定した事例のグループディスカッション

参加者数：10 人

○インターンシップ受入れ

①夏季研修

北九州市からの依頼と協会への直接依頼があった大学生を受け入れた。

実習生：北九州市立大学文学部比較文化学科 3 年生 1 人

京都女子大学文学部英文学科 3 年生 1 人

広島大学文学部人文学科 3 年生 1 人

西南学院大学商学部経営学科 3 年生 1 人

大分大学経済学部地域システム学科 3 年生 1 人

立命館アジア太平洋大学国際経営学部 3 年 1 人

西南女学院大学人文学部英語学科 3 年 1 人

梅光学院大学文学部人文学科 2 年 2 人

計 9 人

実習期間：9 月 5 日～9 月 7 日 3 日間

実習内容：協会事業の学習、外国語相談員との意見交換、ポスター作成

外国人市民へのインタビュー、テーマに沿ったグループ発表 等

②春季研修

協会への直接依頼があった大学生を受け入れた。

実習生：北九州市立大学外国語学部英米学科 3 年生 2 人

計 2 人

実習期間：2 月 27 日～3 月 1 日 3 日間

実習内容：協会事業の学習、外国語相談員との意見交換、外国人市民へのインタビュー体験、イベント企画案作成 等

○サービスラーニング受入れ

梅光学院大学より 2 人の実習生を受け入れた。

実習生：梅光学院大学文学部人文学科 2 年 2 人

計 2 人

実習期間：9 月 30 日～2 月 3 日 4 か月間

実習内容：イベント補助、事務作業補助、日本語教室訪問イベント企画と運営
(2 回)

《 協会の広報活動 》

○ホームページ等による広報（再掲）

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したホームページから、フェイスブックやInstagramの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

○北九州市が発行する市政だより、協会事業やイベント情報の掲載（59 件）

○メールマガジンによる情報提供（月 2 回）

協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信（メールマガジン登録者数：567 人）

○日本語教室やワンストップインフォメーション PR パンフレットの作成・配布（多言語対応）

○「ボランティアウィーク 2024（社会福祉協議会）」での協会事業の実施・紹介

(場所：ウェルとばた)

①多言語おはなし会（再掲）

開催日：10月23日

参加者数：11人

②民族衣装試着・パネル紹介（キーネットと協働）

開催日：10月26日

参加者数：50人

③スライド映像での活動紹介（キーネットと協働）

開催日：10月22日～26日

○「多文化共生わいわい祭り（北九州YMCAとの共催）」への出展

出展日：11月23日

場 所：北九州YMCA

出展内容：世界の民族衣装体験

民族衣装体験ブースの来場者数：305人

Ⅲ 令和 6 年度決算

1 貸 借 対 照 表（総括表）

令和 7 年 3 月 31 日現在（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	6,101,743	12,344,569	▲6,242,826
未 収 金	1,060,510	779,900	280,610
前 払 費 用	10,500	18,500	▲8,000
流 動 資 産 合 計	7,172,753	13,142,969	▲5,970,216
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
投 資 有 価 証 券	271,875,200	292,895,900	▲21,020,700
定 期 預 金	0	0	0
普 通 預 金	0	0	0
基 本 財 産 合 計	271,875,200	292,895,900	▲21,020,700
(2) 特 定 資 産			
留学生等支援資金積立資産	33,986,709	36,128,799	▲2,142,090
外国人材活躍支援資金積立資産	28,557,547	15,025,661	13,531,886
特 定 資 産 合 計	62,544,256	51,154,460	11,389,796
(3) その他固定資産			
車 両 運 搬 具	0	1	▲1
什 器 備 品	140,321	514,090	▲373,769
そ の 他 固 定 資 産 合 計	140,321	514,091	▲373,770
固 定 資 産 合 計	334,559,777	344,564,451	▲10,004,674
資 産 合 計	341,732,530	357,707,420	▲15,974,890
Ⅱ 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	1,977,790	3,701,872	▲1,724,082
前 受 金	20,000	0	20,000
預 り 金	553,895	528,004	25,891
流 動 負 債 合 計	2,551,685	4,229,876	▲1,678,191
負 債 合 計	2,551,685	4,229,876	▲1,678,191
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
受 取 寄 付 金	155,871,256	151,423,460	4,447,796
指 定 正 味 財 産 合 計	155,871,256	151,423,460	4,447,796
（うち基本財産への充当額）	（ 93,327,000 ）	（ 100,269,000 ）	（ ▲6,942,000 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 62,544,256 ）	（ 51,154,460 ）	（ 11,389,796 ）
2. 一 般 正 味 財 産	183,309,589	202,054,084	▲18,744,495
（うち基本財産への充当額）	（ 178,548,200 ）	（ 192,626,900 ）	（ ▲14,078,700 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
正 味 財 産 合 計	339,180,845	353,477,544	▲14,296,699
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	341,732,530	357,707,420	▲15,974,890

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
基本財産運用益	[2,381,000]	[2,308,244]	[72,756]
基本財産受取利息	2,381,000	2,308,244	72,756
特定資産運用益	[822]	[617]	[205]
特定資産受取利息	822	617	205
受 取 会 費	[741,000]	[685,000]	[56,000]
受取賛助会費	741,000	685,000	56,000
事業収益	[2,364,477]	[2,907,023]	[▲542,546]
外国人市民の防災支援受託事業収益	300,000	493,000	▲193,000
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	993,600	997,700	▲4,100
人材育成受託事業収益	349,800	349,470	330
台湾文化交流会事業収益	0	99,946	▲99,946
外国人市民と地域住民の交流事業収益	399,995	697,455	▲297,460
外国人市民のための図書館ガイドツアー事業収益	0	99,792	▲99,792
外国人受入企業の支援事業収益	321,082	169,660	151,422
受取補助金等	[67,751,000]	[69,109,980]	[▲1,358,980]
受取北九州市補助金	61,271,000	60,362,000	909,000
受取国庫補助金	6,480,000	8,600,000	▲2,120,000
受取助成金	0	147,980	▲147,980
受取寄附金	[3,625,820]	[3,703,594]	[▲77,774]
受取寄附金	55,616	40,000	15,616
受取寄附金振替額	3,570,204	3,663,594	▲93,390
雑 収 益	[754,835]	[600,926]	[153,909]
受 取 利 息	5,111	11	5,100
その他雑収益	749,724	600,915	148,809
経 常 収 益 計	77,618,954	79,315,384	▲1,696,430
(2) 経 常 費 用			
事業費	[80,087,485]	[75,287,870]	[4,799,615]
役員報酬	6,154,895	6,154,895	0
給料手当	37,075,568	33,330,111	3,745,457
臨時雇賃金	4,199,412	3,238,490	960,922
福利厚生費	8,251,060	8,052,522	198,538
奨学資金	600,000	720,000	▲120,000
留学生等支援助成金	2,100,000	740,000	1,360,000
外国人材活躍支援助成金	1,059,000	2,730,000	▲1,671,000
旅費交通費	1,443,552	1,963,234	519,682
通信運搬費	2,092,453	2,002,661	89,792
減価償却費	361,963	513,270	▲151,307
消耗品費	1,165,430	991,100	174,330
車両費	124,730	215,105	▲90,375
修繕費	0	44,000	▲44,000
印刷製本費	203,280	894,560	▲691,280
光熱水料費	2,297,843	2,165,895	131,948
リース料	1,050,700	803,940	246,760
使用料賃借料	4,297,834	3,785,969	511,865
交際費	23,500	1,500	22,000
災害保険料	123,159	76,106	47,053

報 賃 費	4,268,691	3,389,280	879,411
租 税 公	4,000	4,000	0
支 払 負 担	250,000	250,000	0
委 託 費	2,042,700	2,381,377	▲338,677
函 書 費	211,105	174,375	36,730
食 糧 費	24,392	44,080	▲19,688
雑 費	662,218	621,400	40,818
管 理 費	[2,237,263]	[2,613,558]	[▲376,295]
役 員 報	291,205	306,205	▲15,000
給 料 手	179,140	234,253	▲55,113
福 利 厚 生	112,602	126,482	▲13,880
通 信 運 搬	27,226	30,936	▲3,710
減 価 償 却	11,806	12,239	▲433
消 耗 品 費	32,312	52,163	▲19,851
印 刷 製 本	2,970	19,800	▲16,830
光 熱 水 費	117,256	113,994	3,262
リ ー ス 料	45,504	42,312	3,192
使 用 料 賃 借	579,003	581,143	▲2,140
支 払 負 担	100,000	100,000	0
委 託 費	660,000	929,500	▲269,500
交 際 費	3,000	5,645	▲2,645
雑 費	75,239	58,886	16,353
経 常 費 用 計	82,324,748	77,901,428	4,423,320
評価損益等調整前当期経常増減額	▲4,705,794	1,413,956	▲6,119,750
基本財産評価損益等	▲14,078,700	▲6,979,144	▲7,099,556
評価損益等計	▲14,078,700	▲6,979,144	▲7,099,556
当期経常増減額	▲18,784,494	▲5,565,188	▲13,219,306
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受 取 寄 附 金	[40,000]	[40,000]	[0]
受取寄附金振替額	40,000	40,000	0
経常外収益計	40,000	40,000	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[1]	[0]	[1]
車両運搬具除却損	1	0	1
指定正味財産への振替額	[0]	[269,000]	[▲269,000]
指定正味財産への振替額	0	269,000	▲269,000
経常外費用計	1	269,000	▲268,999
当期経常外増減	39,999	▲229,000	268,999
当期一般正味財産増減額	▲18,744,495	▲5,794,188	▲12,950,307
一般正味財産期首残高	202,054,084	207,848,272	▲5,794,188
一般正味財産期末残高	183,309,589	202,054,084	▲18,744,495
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	▲72,756	0	▲72,756
基本財産受取利息	▲72,756	0	▲72,756
受 取 寄 附 金	[15,000,000]	[5,200,000]	[9,800,000]
受取民間寄附金	15,000,000	5,200,000	9,800,000
基本財産評価損	[6,869,244]	[0]	[6,869,244]
一般正味財産への振替額	[▲3,610,204]	[▲3,434,594]	[▲175,610]
一般正味財産への振替額	▲3,610,204	▲3,434,594	▲175,610
当期指定正味財産増減額	4,447,796	1,765,406	2,682,390
指定正味財産期首残高	151,423,460	149,658,054	1,765,406
指定正味財産期末残高	155,871,256	151,423,460	4,447,796
III 正味財産期末残高	339,180,845	353,477,544	▲14,296,699

Ⅳ 令和 7 年度事業計画

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、令和 3（2021）年 3 月に策定した中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の 3 つの分野における事業を実施することとしている。

中期計画の 5 年目となる令和 7（2025）年度は、新型コロナによる入国制限緩和後に急増し、コロナ前を上まわっている外国人市民（令和 6 年 12 月末 17,280 人）との共生社会の実現に向けた取り組みを引き続き推進していく。

具体的には、

- 1 平成 31(2019)年 4 月に設置した「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」において、外国人市民への多言語による生活全般の情報提供・相談を行う。
- 2 「生活支援」の 1 つとして、外国人市民への防災対策を充実させていく。
- 3 外国人市民の言葉の壁を取り除くために、国の施策をふまえて外国人市民への日本語教育を充実させ、同時に日本人等への「やさしい日本語」の普及に取り組んでいく。

本事業計画に基づく予算は、昨年度に引き続き、国及び北九州市の補助金に加え、外国人材活躍支援資金積立試算（寄附金）等の特定資産を活用するほか、賛助会費等の自主財源の確保に努める。

現在の中期計画が令和 7（2025）年度で終了するため、令和 7（2025）年度中に新しい中期計画策定に着手する。その際、北九州市が進める「持続可能な公民連携体制（外郭団体等のあり方含む）」の検討状況や策定予定の「（仮称）多文化共生ロードマップ」の内容などを踏まえ、整備していく。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1) 外国人市民の相談窓口の充実等

ア 北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの取り組み

外国人市民が安心して相談できるよう支援体制の強化・充実に努める。

- 協会（八幡西区コムシティ 3 階）及び小倉北区役所で、「外国語相談員」が日本語、英語、中国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語は電話通訳やタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により日本語を含む最大 23 言語の相談に対応
- 前年度、試行的に区役所等で導入した「オンライン相談」の本格化
- 多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」を中心に関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローの実施
- 「相談通訳コーディネーター」が翻訳等のサポーターや行政・医療通訳ボランティアの育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援の実施
- 日本語教育に関する相談に、「日本語コーディネーター」が「外国語相談員」と連携して対応

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施する。

- 行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談」 月 1 回
- 弁護士による「法律相談」 月 1 回
- 臨床心理士による「心理カウンセリング」 随時

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、北九州市役所関係部局等で構成する「北九州外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」の業務にフィードバックすることにより、外国人支援事業の充実を目指す。

(2) 多言語による情報提供の改善

ア ホームページや SNS を活用した広報

協会のホームページ（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応）及び、フェイスブックやインスタグラム等の SNS を活用し、効果的な情報発信を行う。

特に大雨や台風などの多言語による情報提供を協会ホームページやフェイスブックで速やかに行い、避難準備等の注意喚起を行う。

(3) 外国人市民への防災対策

ア 外国人市民への災害情報

大雨や台風などの多言語による情報提供を協会ホームページやフェイスブックで速やかに行い、避難準備等の注意喚起を行う。

さらに外国人市民と日頃から関わりのある「外国人住民応援サポーター」に災害に関する情報を外国人市民に拡散してもらう。

イ 外国人市民等への防災研修

外国人市民や外国人市民関係者向けの防災研修を実施する。

ウ 北九州市災害多言語支援センターの運営

北九州市との協定に基づき、大規模災害発生時に「北九州市災害多言語支援センター」を開設し、外国人への情報提供、支援を必要とする外国人への相談対応等を行う。

北九州市と合同で策定した「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」に沿った研修を実施し、必要に応じてマニュアルの改訂を行う。

(4) 日本語教育の推進と ICT 活用

ア 協会主催の日本語教室の運営等

令和元（2019）年度から文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業補助金」を活用し、「総括コーディネーター」及び「地域日本語コーディネーター」からなる体制を維持してきたが、令和 7（2025）年度も同補助金を活用し、「日本語教育の推進に関する法律（令和元年公布・施行）」及び国が定めた「外国人材の受入れ、共生のための総合的対応策（令和 5 年度改訂）」並びに「地域における日本語教育の在り方について（文化審議

会国語分科会報告（令和４年）」に沿った日本語教育を推進していく。

○令和３（2021）年１０月に文化審議会国語分科会が策定した「日本語教育の参照枠」に沿った「生活者としての外国人」に対する日本語教育の推進のため、令和６（2023）年度から内容を見直した協会主催教室のさらなる充実

○地域で暮らす外国人市民を対象としたオンライン授業や児童生徒を対象とした対面による授業等の積極的な推進

○教室を支援する人材の募集・育成

イ 地域日本語教室との連携・支援

地域で日本語教室を運営している市内１６の教室・団体の活動経費の一部を助成するほか、研修や意見交換の場を設ける等、各教室・団体に対し必要な支援を行う。

○地域日本語教室への訪問やアンケート、意見交換会、研修の実施

○外国人材活躍支援資積立資産（寄附金）による日本語教室助成金交付

○地域日本語教室のための対話テキスト作成

ウ 「留学生日本語弁論大会」・「日本語おしゃべり発表会」の開催

日本語を学ぶ外国人のモチベーションの向上、地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進を目的として、次の事業を実施する。

○留学生を対象とした「留学生弁論大会」

○地域日本語教室で学ぶ外国人市民などを対象とした「おしゃべり発表会」

エ 「やさしい日本語」研修の実施

「生活者としての外国人」に対する日本語教育への理解促進のために、地域住民等に「やさしい日本語」の研修を行い、両者のコミュニケーション能力向上を目指す。

オ 外国人受入団体（企業・夜間中学校）の支援

○外国人従業員と日本人従業員のコミュニケーションを重視した協会オリジナルプログラムを使った企業への支援

○令和６（2024）年４月に開校した「北九州市立夜間中学校（ひまわり中学校）」で学ぶ外国人生徒などへの支援。

２ 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

（１）外国人人材の発掘・情報収集

外国人人材の情報を収集し、協会との関係を深めることで外国人市民の視点からの魅力発信など、地域への貢献を促進するよう協力を求める。

（２）人材バンク・協会ボランティア登録の推進

翻訳などのサポーターや行政・医療通訳ボランティアなどを発掘して人材バンク等への登録を推進する。

（３）留学生等に対する地元就職支援

ア 地元企業への就職等促進

市内の教育機関（専門学校、大学）に通っている留学生等に地元企業等への就職・市内定

着を支援するための取組みを行う。

イ 関原北九州大連友好基金の活用

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、市内の大学等に在籍している留学生に対して奨学金を支給する。

ウ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供する。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1) 外国人市民の地域社会への参加促進

地域社会へ貢献する意思のある外国人市民からなる自助組織を積極的に支援するとともに、地域社会において、ボランティア等で活躍する外国人市民が増えていくような取組みを検討する。

(2) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネット加盟団体相互の情報交換等の活動を事務局として支援する。

(イ) 民間団体の活動支援

国際化や多文化共生に取り組む民間団体の事業の共催、後援及び広報支援等を行う。

イ 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際交流財団との協働事業として、外国人市民等を講師として小・中・高等学校や市民センター等に派遣し、世界の文化や習慣等を紹介し、異文化理解を促進する。

(イ) 講師の派遣

協会の職員や外国語相談員、人材バンクの登録者等が講師となり、小・中・高等学校や市民センター等で自国の生活や文化等を紹介し、参加者との交流により多文化共生の意識を醸成する。

ウ 多文化共生の地域づくり

日本人市民と留学生等の外国人市民の交流を支援するとともに、学習会や研修会、国際交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の人材づくり・啓発を行う。

令和 7（2025）年度は、一般財団法人自治体国際化協会の「多文化共生のまちづくり促進事業助成」を活用して、外国人市民の地域生活における課題の把握や地域住民との関係づくりを行う。

V 令和7年度予算

収 支 予 算 書

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日(単位:千円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,380]	[2,380]	[0]
基本財産受取利息	2,380	2,380	0
特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
受取会費	[700]	[600]	[100]
賛助会員受取会費	700	600	100
事業収益	[2,468]	[2,048]	[420]
コミュニティ通訳等派遣受託業務収益	1,113	998	115
共生社会の実現に向けた環境整備事業収益	0	400	▲400
外国人防災支援受託事業収益	493	300	193
地域でのやさしい日本語普及啓発事業	512	0	512
多文化共生人材づくり受託事業収益	350	350	0
受取補助金等	[77,215]	[68,771]	[8,444]
受取北九州市補助金	65,795	61,121	4,674
受取国庫助成金	9,070	7,500	1,570
受取自治体国際化協会助成金	2,350	150	2,200
受取寄附金	[2,988]	[6,040]	[▲3,052]
受取寄附金	80	40	40
受取寄附金振替額	2,908	6,000	▲3,092
雑収	[689]	[251]	[438]
受取利息	0	1	▲1
その他雑収益	689	250	439
経常収益計	86,440	80,090	6,350
(2) 経常費用			
事業費	[85,245]	[78,781]	[6,464]
役員報酬	6,626	6,105	521
給料手当	34,990	34,021	969
臨時雇賃金	3,237	4,590	▲1,353
福利厚生費	7,515	7,503	12
会議費	0	7	▲7
旅費交通費	1,724	1,468	256
通信運搬費	2,101	1,498	603
減価償却費	362	551	▲189
消耗什器備品費	991	0	991
消耗品費	530	466	64
材料費	10	50	▲40
車両費	67	82	▲15
印刷製本費	420	154	266
光熱水料費	1,425	2,008	▲583
リース料	1,358	1,222	136
使用料賃借料	5,310	4,857	453
災害保険料	284	130	154

報	償	費	6,362	4,117	2,245
奨	学	金	720	720	0
食	糧	費	76	40	36
支	払	金	374	350	24
留	学	担	784	5,700	▲4,916
込	生	助	330	360	▲30
委	等	成	9,124	2,286	6,838
雑	支	金	525	496	29
管	書	費	[1,327]	[1,309]	[18]
	託	費	349	483	▲134
役	理	酬	418	314	104
給	員	当	76	54	22
福	料	費	8	8	0
会	利	生	0	0	0
旅	厚	費	15	14	1
通	議	費	12	29	▲17
減	交	費	6	5	1
消	通	費	75	210	▲135
光	信	費	166	38	128
リ	価	料	0	0	0
使	耗	借	2	11	▲9
租	熱	公	125	68	57
委	一	託	75	75	0
雑	用		86,572	80,090	6,482
經	常	費	▲132	0	▲132
当	期	増			
期	経	減			
常	増	額			
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経	常	外	0	0	0
外	収	益			
収	益	計			
(2) 経常外費用					
経	常	外	0	0	0
外	費	用			
費	用	計			
当	期	経	0	0	0
期	経	外			
常	増	減	▲132	0	▲132
外	増	減			
増	減	額			
当	期	一	222,240	222,240	0
期	一	般			
正	般	正	222,108	222,240	▲132
味	味	財			
財	財	産			
産	産	期			
増	期	首			
減	末	残			
額	高	残			
II 指定正味財産増減の部					
受	取	寄	0	5,000	▲5,000
取	付	金			
一	般	正	▲2,908	▲6,000	3,092
般	味	財			
正	味	産	▲2,908	▲1,000	▲1,908
財	産	増			
産	減	額			
増	指	定	131,757	132,757	▲1,000
減	指	定			
額	正	味			
指	財	産			
定	期	首			
正	末	残			
味	高	残			
財	高	高			
産					
期					
末					
残					
高					
III 正味財産期末残高			350,957	353,997	▲3,040

Ⅵ 役員名簿等

1 役員名簿

令和7年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長	福原 公子	(公財)北九州国際交流協会理事長
専務理事	長濱 信秀	(公財)北九州国際交流協会専務理事
理事	井上 龍子	八幡駅前開発(株)代表取締役社長
//	後藤 光	独立行政法人国際協力機構九州センター所長
//	狩野 隆一	北九州国際交流団体ネットワーク会長
監事	田代 昇三	北九州市政策局グローバル挑戦部長
//	大石 聡一郎	(株)福岡銀行常務執行役員北九州本部長

2 市との特命随意契約の状況（令和6年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち政策連携団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意 契約の場合 その理由
コミュニティ通訳業務	994	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、当該業務を履行可能なものが1者しかいないことが確認されたため。	再委託なし				
令和6年度外国人市民の防災支援事業	300	文化的背景等を理解した上で、外国人コミュニティなどと緊密に連携できる団体で、大規模災害発生時に「北九州市災害対応多言語支援センター」を立ち上げる（公財）北九州国際交流協会と連携なくしては外国人市民への防災支援は成しえないため。	再委託なし				
令和6年度「グローバル人材育成事業」	350	北九州ひとみらいプレイスを構成する各施設との連携事業の一環であり、プレイスに所属し、国際関連団体とのネットワークを持つ組織でないと実効性のある履行が期待できないため。	再委託なし				
令和6年度「多文化共生意識啓発・地域交流事業」	400	外国人について優れた知見と実績を有し、また、外国人の文化的背景を理解し対応できる事業者が（公財）北九州国際交流協会以外にないため。	再委託なし				
合計	2,044		合計				